

平成25年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の 別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
1	横浜国際 高等学校	団体	吹奏楽部		近隣の介護老人保健施設からの演奏依頼を受け、本年7月に当該施設において第一回の演奏会を開催した。曲目などにも工夫を凝らし、多くの方に演奏を楽しんでいただくことができた。 また、8月に近隣の方々を学校にお招きして開催した「地域交流会」は、吹奏楽の演奏だけでなく、学校紹介や地域の方々との歓談を交えた内容で実施し、日頃から学校の活動を理解し、サポートしてくださっている近隣の方々に感謝の気持ちを伝えるなど、音楽を通じた地域への貢献、地域との絆づくりを積極的に進めている。
2	横浜南陵 高等学校	団体	生徒会本部		「あいさつと笑顔のあふれる南陵高校」を目指し、平成23年度より毎週水曜日の朝に生徒会本部役員の生徒5名が正門前に立って、朝のあいさつ運動を実施している。登校してくる生徒にあいさつを行う取組みは、同校の生徒が来校者に対して丁寧なあいさつを励行する模範となっており、同時に、学校目標である「福祉マインド」の醸成と明るい学校づくりの原動力となっている。
3	商工 高等学校	団体	軽音楽部		日頃から学校周辺の清掃などのボランティア活動を行っている。 また、昨年より、地域の自治会から依頼を受け、地元保土ヶ谷区今井町の夏祭りの盆踊りのステージで演奏を披露している。今年は今井町オリジナルの『今井町音頭』を始めとする数曲を演奏したいへん好評をいただくとともに、後日、CDに録音して欲しいとの依頼もいただいたため、録音のうえ進呈するなど、地域・社会に顕著な貢献をしている。
4	保土ヶ谷 高等学校	団体	JRC部		JRC部(青年赤十字: Junior Red Cross)は、毎週1回学校周辺のゴミ拾いなどの清掃活動を継続的に行うとともに、近隣の地区で行われる催しでは、ボランティアスタッフとして平成19年から毎年参加している。 また、校内では、春や秋には「みどりの羽根」や「あしなが基金」の募金活動を行うとともに、昨年からは新たな活動として救急法の講習を受け、いざという時の救急措置ができるように備えるなど、活動範囲を積極的に広げている。
5	二俣川 看護福祉 高等学校	団体	文芸部		神奈川県警が作成している「ピカールくん やくそくかるた」を題材として、文芸部が独自で非行防止パネルを作成し、近隣の小学生を対象に「非行防止教室」を実施した。パネルを用いて、社会のルールを守ることの大切さを一場面ごとに丁寧に説明し、子どもたちの規範意識の醸成に貢献するとともに、パネルを同校のフェンスに掲示し啓発を行うことで、地域の非行防止活動にも積極的に取り組んでいる。
6	釜利谷 高等学校	団体	釜利谷サポ ートチ ーム		平成21年度に発足し、今年で5年目を迎える「釜利谷サポートチーム」は、クリエイティブスクールを牽引するリーダー的存在として積極的に活動している。 学校説明会において、参加者に向けて学校の説明や案内などを積極的に行い、学校の広報の充実に貢献するとともに、合格者説明会や新入生宿泊研修では、新入生が円滑に高校生活に入れるようサポートするなど、同校の運営に欠かせない存在となっている。 また、地元警察署と連携し、地域の小学生を対象に紙芝居を用いた「非行防止教室」を実施し好評を博すなど、地域にもその活動の幅を広げている。
7	港北 高等学校	団体	吹奏楽部		定期演奏会やコンクールへの参加だけでなく、長年にわたり、近隣の小学校との合同演奏会の開催や地域の芸術祭への参加など、音楽を通じた交流を積極的に進めている。その活動は、地元の小・中学生から慕われ、同校の吹奏楽部を希望する生徒も多いなど、学校のイメージアップと地域の活性化に大きく貢献している。
8	市ヶ尾 高等学校	団体	ジャグリング部		ジャグリングの各種類の技術向上に熱心に取り組んでいる。その成果を、地域の幼稚園、小学校、高齢者福祉施設等で披露し楽しんでいただくボランティア活動を実践しており、たいへん好評を博している。 また、地域のコミュニティの行事にも積極的に参加しており、公演とジャグリング技のレッスンをを行うなど、地域の交流の輪を広げ、深めることに貢献している。
9	市ヶ尾 高等学校	団体	書道部		校内での活動や書道展への参加はもとより、地域の介護老人保健施設において、毎月1回、入所者などを対象に書道指導等を行うボランティアを行っている。書道の基本的な書き方の指導や書道実技の補助を懇切丁寧に、参加者からたいへん喜ばれている。地道な活動を通じて地域に貢献する姿勢は、他の生徒の模範ともなっている。

平成25年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
10	新栄 高等学校	団体	専門教科「福祉」 授業履修者		<p>安全教育や道徳教育をテーマに、同校生徒が作成したオリジナル紙芝居を用いて、近隣の中学校の生徒が、小学校の低学年の児童を対象に読み聞かせを行っている。子どもたちの健全育成に向け、地域の小・中・高等学校が連携した取組みとして、高く評価されている。</p> <p>また、夏休み期間中には、近隣の介護老人保健施設や保育園等でのボランティア活動に熱心に取り組むなど、地域での貢献活動等を積極的に推進している。</p>
11	上矢部 高等学校	団体	女子バレーボール部		<p>日頃の熱心な活動はもとより、ビーチバレーにも果敢に挑戦し、優秀な成績を収めている。</p> <p>また、日々の生活を大切に作る姿勢を持ち、応援して下さる地域の方々への感謝の気持ちを込めながら、毎朝、通学路の清掃活動を行うとともに、地域の小・中学生を対象としたバレーボール教室等の開催などによって交流を深め、地域への貢献を行っている。</p>
12	金井 高等学校	個人	平野夏那子 齋藤 沙妃 平岩 紅音 吉村 千春 佐藤真梨亜 浜谷 真衣	3年	<p>J R 戸塚駅において一人の高齢者の男性が転倒した。周りにいた生徒6名を含む数人が駆け寄り、本校生徒はすぐに携帯電話より119番通報をした。</p> <p>幸い男性は落ち着いた様子となったため救急車の出動は不要となり、その場でご家族の迎えを待つこととなったが、生徒たちは協力して近くの店舗から椅子を借り男性を休ませつつ、見守りつづけた。その後、男性は到着したご家族とともに無事帰宅することができた。</p> <p>適切な対応と思いやりあふれる行動は、他の生徒の模範となるものである。</p>
13	横浜栄 高等学校	団体	美術部		<p>学校創立5周年の記念事業として、PTAと生徒が協力して、老朽化している生徒用トイレの清掃、補修、塗装を実施した。</p> <p>連休や夏季休業中の土、日を使って、生徒用の男女トイレ8箇所をリニューアルしたが、美術部は、トイレ塗装後のデザインと描写に活躍した。</p> <p>明るく親しみやすいトイレを目指して部員が話し合い、各トイレの絵柄が異なるものとなるよう工夫しながら、イラストの作成とペイントを行った結果、生徒や保護者から好評を博し、学校環境の改善に力を発揮した。</p>
14	松陽 高等学校	個人	綿貫 望	2年	<p>1年次より生徒会執行部に所属し、学校生活全体の改善と他校との交流に積極的に取り組んでいる。</p> <p>全校生徒の生の声を集約するため「目安箱」を設置するとともに、その広報に尽力した。また、「かながわハイスクール議会」や「全国生徒会サミット2013福島大会」へ積極的に参加し、自校の枠を超えて意見交換するとともに、その経験を生かして更なる改善策を模索し生徒会活動に還元するなどしている。</p>
15	横浜緑園 総合高等学校	個人	橋田 裕哉	3年	<p>1年次から電卓の技能の習得・向上の意欲的に取り組み、電卓検定1級に合格した。2年次に臨んだ全国高等学校電卓競技大会神奈川県予選会では、個人戦3等を獲得した。</p> <p>その後も日々努力を続け、3年次生となり、キャプテンとして参加した今年の全国高等学校電卓競技大会神奈川県予選会の団体戦ではチームを準優勝に導き、全国大会の出場を決めた。</p> <p>8月に開催された第60回記念全国高等学校珠算・電卓競技会では、電卓の部個人読み上げ算競技で、本県生徒初となる準優勝を果たした。</p>
16	横浜修悠 館高等学校	個人	古澤 拓也	2年	<p>日頃学業に真摯に取り組むとともに、車椅子バスケットボールチームに所属し、ジュニア大会で好成績を収め、また、平成24、25年度には、U-23の日本代表チームに選拔され、世界大会でも活躍している。</p> <p>ハンディキャップを抱えながらも、学業と学外の活動を両立させ、積極的に活躍する姿は、他の生徒の模範となるだけでなく、全国の障害を持つ生徒の励みとなっている。</p>
17	瀬谷 高等学校	団体	野球部		<p>毎週土曜日、日曜日と夏季休業中、練習開始前に野球部員全員が参加して、校内と学校周辺の住宅地の清掃活動を実施し、地域の美化に貢献している。</p> <p>地域の一員であるとの自覚をもって、生徒が主体的に率先して地域清掃活動に取り組んでいることは、他の生徒の模範となるものである。</p>

平成25年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
18	川崎 高等学校	個人	藤山明日香	3 年	伊豆の国パン祖のパン祭実行委員会主催の「第七回全国高校生パンコンテスト」出場をきっかけにパン作りに打ち込み、同校OBである地域のパン店の方のサポートをいただきながら練習を重ねた。コンテストでは、農業高校ばかりの出場者の中で、普通科高校の生徒である同人が、手仕込み部門の最高賞である新人賞を獲得した。パンに対するこだわりと、練習の積み重ねの成果であり、たゆまぬ努力と頑張りは、他の生徒の模範となるものである。
19	川崎 高等学校	個人	柴田 彩希	3 年	入学当初から野球部のただ一人のマネージャーとして積極的に活動してきた。1年生の冬には部員が1人になり、部の存続が危ぶまれる事態に直面したが、新入生を積極的に勧誘し、チームを作り上げる原動力となった。チームの一員として、部員への用具の使い方の指導やプレー確認の声かけ、練習メニューの考案など、時に他の部員を上回る役割を果たすとともに、部員が少ないことをチャンスに換え、部員一人ひとりとコミュニケーションを図ることで、信頼関係を築き上げた。マネージャーとしてチームを作り上げ、支え続けた頑張りににより、同部が各大会に出場することが出来た。
20	川崎 高等学校	個人	原田 大輝	3 年	テレビドラマにもなった三重県の「高校生レストラン」に憧れ、クッキング部が企画した「県川レストラン」の初代店長を務めた。高校生らしいおもてなしや気配りを大切にしながら、美しく美味しい料理を提供する心地よいお店を目指して、メニューや単価設定、仕入れ先へのあいさつ、後輩部員への接客指導など、本物の店舗マネジメントを行う店主さながらの役割を果たし、成功に導いた。「県川レストラン」の成功は、クッキング部の活動の幅を広げ、同部の新たな伝統を作り上げる一歩になるとともに、中学3年生を対象に行われた夏の体験授業に併せて行われたことから、学校のPRとイメージアップに大きく貢献した。
21	川崎工科 高等学校	団体	化学研究部		高校生ならではの柔軟な発想で、日常の疑問の解決や身近な題材をもとにした環境への取組みなど、日頃熱心に研究を行っている。「納豆菌を用いた生活排水の浄化」、「廃棄果実の利用方法研究」、「酢酸ナトリウムを用いたエコカイロの作製」といったテーマでの研究成果を、地域のイベントや研究発表会の場で、ポスターセッションの形式で発表し、環境浄化や環境問題の解決等に向けたメッセージを地域社会に発信している。
22	川崎工科 高等学校	団体	5インチゲージ ミニ電車製作班		子どもや大人が乗車できる5インチゲージの電車を製作し、地元の市や商店街が主催する音楽祭や夏祭りに参加している。人が乗る電車として安全性を考慮し、頑丈で事故の無い車両をめざし製作するとともに、実際の運行時にも常にレールの補正や乗車の注意等を図り、安全対策も行っている。市民祭り等では、延べ5,000人以上の子どもたちが乗車し、事故のない安全な運行を実現し、地域の方に楽しんでいただくことができた。近年出展依頼が増加しており、ものづくりを通じた地域貢献に大きな役割を果たしている。
23	川崎北 高等学校	団体	吹奏楽部		川崎北高等学校吹奏楽部は、定期演奏会やコンクールへの参加だけでなく、川崎駅周辺で開催される東日本大震災に係るチャリティーコンサートに平成24年、25年と連続して参加している。多くの観客に演奏を披露し好評を博すとともに、積極的に募金活動も行った。また、近隣の小学校や幼稚園との交流会や区民祭りでの演奏を通じて、地域との交流を深め、地域への貢献を果たしている。
24	向の岡工 業高等学 校	団体	自動車部・定時 制有志ボラン ティア		ベトナムの小・中学生に自転車を送る活動をしている日本ベトナム友好協会に協力し、自転車を輸送用コンテナに積むための作業にボランティアで参加している。自転車を輸送用コンテナに積むためには、ハンドルを曲げ、ペダルを外す作業が必要であるが、生徒たちは実習等で習得した技術を生かして、休日返上で献身的に作業を行っている。本年6月、送った自転車の台数が通算一万台を超えたことにより、ベトナムのダナン市友好連盟より感謝状をいただいた。日頃培った技術をボランティアに生かす活動は、他の生徒の模範となっている。

平成25年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
25	生田東 高等学校	団体	保健委員会		「言葉で生田東高校を元気にする」を目標に積極的に活動を展開している。教職員や保護者に、「教科」「部活動」「行事」などをテーマに「生田東高校生への一言ラブレター」と題してメッセージを書いてもらった。また、上級生から新入生に向けて、同校の魅力や学校生活についての「一言メッセージ」を書くなどし、それらのメッセージを校内で展示発表するとともに、プリントにして配付した。 校内展示は1階職員室前の廊下で行っているため、生徒に対するメッセージにとどまらず、来校する保護者、中学生、地域住民の方々、学校評議員など、広く学校関係者に、同校をより一層知っていただく効果ももたらしている。
26	菅 高等学校	団体	華道部		日頃熱心に華道に打ち込み、活動日に生けた花を継続的に校内に展示しているとともに、近隣の老人ホームを訪問し、施設内に作品を展示するボランティア活動を続けており、入所者の方に喜ばれている。 さらに、市民祭への出品や、麻生区役所内に生け花を展示するなどの活動を通じて、地域の方々に癒しと潤いを提供している。
27	麻生総合 高等学校	団体	広報スタッフ		「自分たちの学校を自分たちでPRする」というコンセプトのもと、学校設立当初から有志により結成・運営されてきた。 学校説明会の企画・立案、当日の運営、進行等を手がけるとともに、地域貢献デーや文化祭、また、全公立展などの対外的な行事にも積極的に参加するなど、まさに「学校の顔」として多岐にわたって活動している。 学校説明会時の参加者アンケートからは、わかりやすい明るく丁寧な説明がたいへん好評を博している。同校に欠かすことのできない組織へと成長している。
28	横須賀大 津高等学校	団体	吹奏楽部		定期演奏会やコンクールへの参加だけでなく、近隣の小学校の音楽鑑賞会で演奏を披露するとともに、長年地域の老人ホームへの訪問演奏活動を行い、音楽を通じてお年寄りの方との交流を深めてきた。 昨年度からはボランティア活動の幅を広げ、地域の幼稚園、保育園における演奏を開始した。子どもたちにたいへん喜んでもらうことができ、訪問演奏の数日後、園児から感謝のメッセージカードが送られるなど、たいへん爽やかな交流が図られている。
29	追浜 高等学校	個人	石川 文男	2年	64歳で同校に入学し、学業に意欲的に取り組むとともに、入学と同時に入部した自転車競技部の活動にも熱心に取り組んでいる。 困難な環境下で練習を重ね、本年8月に行われた全国高等学校定時制通信制体育大会 第48回自転車競技大会に参加し、特別賞を受賞した。 何事にも真摯に情熱をもって取り組む姿勢は、他の生徒の模範となっている。
30	津久井浜 高等学校	団体	演劇部		少ない部員数であるが、各種大会等に積極的に参加し好成績を残し、今年度も地区の代表校として県大会に出場した。また、地域への貢献活動として、神奈川県警等と連携し、地域の小学生を対象とした非行防止教室を開催している。自作の寸劇「やってはいけないルール」の上演とゲームを交えた参加型の教室とし、好評を博している。 さらに、学校説明会における学校紹介の劇や、同校内に設置されている武山養護学校分教室との積極的な交流など、学校内外にわたり積極的な活動を展開している。
31	平塚工科 高等学校	団体	社会部		富士山の清掃などの環境保護を中心に活動を開始し、環境に対する関心の高まりから、平成12年度よりソーラーカー、エコカーの製作にも取り組み始めた。 困難な課題や新たな取組みに果敢にチャレンジしてきた努力が実り、「ソーラーカーレース鈴鹿」では、18歳以下のクラスで新記録の4連覇、4時間耐久レースの総合部門でも、大学、企業チームを破り、新記録で3連覇を果たす快挙を成し遂げた。
32	高浜 高等学校	団体	JRC高浜		JRC部(青年赤十字: Junior Red Cross)は、県立湘南養護学校の秋祭りや湘南ひらつか七夕祭りでのボランティア活動のほか、日本赤十字社、赤い羽根共同募金、UNICEFなどの各種募金活動を行っている。東日本大震災後は、街頭、校内で募金を行うとともに、自分たちで作った手芸品等をバザーで販売し、その売上金等を義援金として日本赤十字社を通じて被災地に送った。 また、一昨年から校内でエコキャップ運動を展開し、ポリオワクチンを届ける活動を行うなど、奉仕の心をもって、社会貢献活動に地道に取り組んでいる。

平成25年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
33	平塚商業 高等学校	団体	チャレンジ委員 会		地域への貢献に係る個々の活動を、昨年度から「チャレンジ委員会」として一括の委員会とし、現在100名を超える規模で活動を展開している。商業高校での学びを地域を舞台に展開する取組みとして生徒の中に根付いている。 同校は、小学生が仮想の街での体験活動を通じて社会の仕組みを学ぶ「ぶちひらつか〜キッズビジネスタウンひらつか〜」を(公社)平塚青年会議所と共催しているが、チャレンジ委員会は、参加した地域の小学生約300名の職業体験や消費活動体験のサポートを行うなど、自らの学びの成果を生かしながら地域への貢献を行っている。
34	平塚湘風 高等学校	団体	合唱部		各種大会において優秀な成績を収めているだけでなく、地元の方々から「歌って踊って芝居もできる」楽しい合唱部として親しまれ、地域との交流を図っている。 年間を通して多くの協力依頼をいただき、近隣の福祉施設、高齢者施設、保育園や、地域のイベントなどに演奏ボランティアやサポートスタッフとして参加するなど、地域で愛される高校生ボランティアとして活発に活動している。
35	鎌倉 高等学校	個人	小高多与里	2 年	平成24年12月、部活動を終えて帰宅する途中、藤沢市内のトンネルにおいて、女性が倒れている現場に遭遇した。他にも何人かの人が見ていたが処置をできずいたため、中学校や高校で学んだ心肺蘇生の技術を生かして、救命のため心臓マッサージを施した。 救急措置を講じながら救急車の到着を待ち、到着後救急救命士と交代してその場を離れた。女性は一命を取り留めた。 冷静な判断力と勇気をもって人命救助にあたったことは、他の生徒の模範となるものである。
36	鎌倉 高等学校	団体	室内楽部		部員の減少など困難な時期もあったが、近隣の重症心身障害児施設を中心に福祉施設を訪問し、楽器の紹介や器楽演奏を楽しんでいただくボランティア活動を継続的に行っている。 訪問先の方々からは、生活の励みになる、といった感謝の声が寄せられ、たいへん喜んでいただいている。また、部員たちにとっても、音楽を他者と分かち合うことに喜びを感じられる大切な活動であり、演奏の質をより高めることへの意欲を得るとともに、積極的な交流を通して共生の大切さを認識できる貴重な機会ともなっている。
37	湘南 高等学校	団体	定時制演劇部		高い目的意識を持ち、毎日ひたむきに努力する姿は、他の部活動の模範となっている。限られた練習時間の中で完成度の高い作品を仕上げ、地区の高等学校演劇発表会での最優秀賞受賞など、優秀な成績を収めている。 また、地域の催しにもボランティアとして積極的に協力しており、今年の夏祭りでは屋台の運営を担当した。地域の子どもたちを大いに楽しませるなど、イベントの盛り上げにも貢献しており、こうした協力に対し、地域の方々からたいへん高い評価をいただいている。
38	藤沢西 高等学校	団体	陸上部		日頃熱心に部活動に取り組み、優秀な成績を収めているだけでなく、平成24年9月に一部の部員が、「自分たちの生活を見直してみよう」と始めた地域の美化活動が陸上部全体に広がり、よき習慣として定着しており、ほぼ毎日、朝練習の開始1時間前から校内と学校の周囲をほうきで掃いたり、ごみを拾うなどの清掃を継続して行っている。 また、清掃中や部活動中において、近隣の住民の方へのあいさつや声かけも主体的・継続的に行っており、住民の方からは、日頃の清掃活動への感謝と、「あいさつの仕方が清々しく、とても気持ちが良い」との声が寄せられている。
39	藤沢工科 高等学校	個人	中林 政貴	3 年	入学時から意欲的に学業に励み、とりわけ専門分野に対して向上心をもって積極的に取り組んだ成果として、3年次にチームのまとめ役として出場した「高校生ものづくりコンテスト神奈川大会測量部門」で準優勝を果たすとともに、高校生にとって難関の資格である測量士補の国家試験に挑戦し、たゆまぬ努力により見事に合格した。 また、陸上部では部長としてよく部をまとめ、活動の活性化に努めるなど、文武両道を実践する姿は、他の生徒の模範となるものである。
40	藤沢工科 高等学校	団体	女子バスケット ボール部		唯一の女子部として熱心に部活動に取り組み、優秀な成績を収めているだけでなく、校内や学校周辺の清掃活動を継続的に実施し、地域に貢献している。 また、学校説明会やものづくり体験教室などの会場準備や当日の運営等に協力するとともに、小学生との交流事業においてバスケットボールの技術的指導を行うなど、学校行事や地域との交流に積極的に貢献している。 さらに、校内外を問わず常に明るく礼儀正しくあいさつを励行しており、学校全体のあいさつ推進の取り組みにも大きく貢献している。

平成25年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
41	藤沢工科 高等学校	団体	ボランティア部		ボランティア活動の中での人との触れ合いを通して、協力することや支援することの喜びを分かち合い、地域社会に貢献することを目指している。 学校内では、エコキャップの回収、床の張替えや清掃を行うとともに、学校説明会の運営スタッフなども務めている。 地域においては、藤沢市や大和市の社会福祉法人や障害者団体が主催する各種イベントへの協力や、東日本大震災の街頭募金、福祉施設のイベントに参加・協力する活動を継続して実施しており、高い評価をいただいている。
42	湘南台 高等学校	団体	模擬投票プロジェクトチーム		平成25年7月の参議院議員選挙の模擬投票の実施にあたり、ボランティアスタッフとして18名が参加した。担当教員と連携をとりながら、事前準備から模擬投票当日の運営を担い、開票作業に至るまで、同校の模擬投票の円滑な実施に大いに貢献した。 また、実際の参議院議員選挙でも、選挙管理委員会の投票事務従事者募集に有志4名が積極的に参加した。選挙前日の帳票所の設営から当日の投票事務まで、明るく丁寧な対応を心がけて、立派に業務を遂行し、選挙管理委員会職員や投票に訪れた方々から、高い評価をいただいた。
43	小田原 高等学校	団体	生徒会		県立小田原養護学校と長年にわたり交流を進めている。学校説明会を主体的に運営し、中学生と保護者に同校の魅力をわかりやすく説明するとともに、新入生歓迎会、体育祭、合唱コンクール、スポーツ大会、文化祭など、すべての学校行事の企画運営等を中心的に行っている。 また、地域の他の高等学校の生徒会との交流を深め、平成25年1月には、合同で小田原駅周辺の清掃活動を行い、今後も引き続き実施する予定である。 さらに、ペットボトルキャップの回収を組織的に実施し、ポリオワクチンや車いすの購入にも貢献している。
44	小田原総合 ビジネス 高等学校	団体	店舗経営同好会		小田原市役所をはじめ、地元の自治会、企業、商工会議所、商店会等と連携しながら、「小田原北条五代祭り」や小田原銀座通り商店街「軽トラ市」など、地域の催しに積極的に参加し、地域の活性化に貢献している。 商品の仕入れから販売までを通じて、販売実践・ビジネスマナー等、商業教育の特色を生かした独自の活動を行っている。
45	茅ヶ崎西 浜高等学校	団体	生徒会		「海岸清掃ボランティア」を企画し、校内や地域自治会に参加の呼びかけを行い、およそ100名の生徒と地域の方々とで海岸清掃を行うことができた。また、「南湖地区自治会連合会防災訓練」に学校生徒代表として参加するなど、地域との交流にも積極的に取り組んでいる。 「登校時あいさつ運動」を企画・実施しており、登校時に生徒昇降口や校門に立ち、全校生徒を元気なあいさつで迎えた。 常に明るく前向きに、学校や地域の笑顔のために積極的な活動を行っている。
46	逗子 高等学校	団体	Z - S e l e c		逗子高校ボランティアセンターを前身に、平成23年度からは部活動として、同校のボランティアの企画と実施の中心として活動している。 障害者施設及び高齢者施設におけるボランティア活動や、地元逗子市の青少年会館まつりや子どもフェスティバル等各種イベントにスタッフとして参加している。さらに、昨年度からは、視覚障害者のための点字絵本等の作成に力を注いでおり、現在もさらなる技術の向上と視覚障害者支援の充実を目指し、日々努力を続けている。
47	相模原 高等学校	団体	吹奏楽部		地域の催しにおける演奏、お祭りの交通整理などのボランティア活動や、津久井養護学校や公民館の子どもフェスティバルなどにおいて、相模原の子どもたちに音楽や楽器に親んでもらう取組みを継続的にしている。 特に、津久井養護学校との交流体験教室では、新たに「指揮体験」のコーナーを加え、児童・生徒や保護者の方々に好評をいただくとともに、初の試みとして、上溝小学校の学校行事「音楽鑑賞会」を担当し、演奏の他に、楽しい企画を盛り込んで全校児童を大喜びさせるなど、部員同士が協力し合いながら、自律的な活動を積極的に展開し、地域に貢献している。

平成25年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の 別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
48	上溝南 高等学校	団体	女子バスケット ボール部		日頃熱心に部活動に取り組み、優秀な成績を収めているだけでなく、毎年9月下旬から3月までの間、平日は週2、3回6時45分に学校に集合し、朝練習の前に、校内及び近隣の落ち葉やゴミを掃き集める作業を行っている。 生徒の自主的かつ継続的な取組みに、地域の方々から感謝の声が寄せられており、地域貢献、地域との交流に大きな役割を果たしている。
49	上鶴間 高等学校	団体	フレア		学校創立35周年を記念して、生徒自らの発案で4人組の地域貢献型アイドルグループが結成された。炎の如き熱い心と地域との"ふれあい"を合わせて、グループ名を「フレア」とした。 相模原市の防犯週間イベントにおいて、オリジナルの防犯ソングを披露したり自らシナリオを作って防犯クイズを行うとともに、相模原市南区が主催する南区学生自転車会議のイベントで、歌の披露と自転車利用のマナーを呼びかける寸劇を行った。 その他にも、地域自治会の催しなどに参加し、たいへん喜んでいただいている。
50	相模原青 陵高等学校	個人	邱 家豪	2年	在県外国人生徒であり、入学当初は日本語がままならない状態であったが、地元の大学が開く外国籍の生徒対象の学習支援教室に参加するとともに、日々の教科学習や日本語学習に粘り強く取り組み、現在では、十分な語学力を身に付けるとともに、日本人の他の生徒に引けをとらぬ優秀な成績を収めている。 多文化交流部の部長として、積極的に学校内外の国際交流に貢献しており、今年8月に行われた、第13回高校生日本語弁論大会に神奈川県代表として参加し、優秀な成績を収めた。真摯に努力を続ける姿勢は、他の生徒の模範となるものである。
51	相模原総 合高等学校	団体	生徒会		東日本大震災で被災された方々に高校生として何かできることはないか、と発案し、「Sagaso(相模原総合)Cheering Project」を立ち上げ、全校生徒の取組みとして継続的に実施している。 街頭募金活動、フリーマーケットでの雑貨品の販売、学校行事での調理品販売、吹奏楽部や軽音楽部によるチャリティーライブなど多岐にわたる活動を展開し、こうした活動を通じて集めた金額と、文化祭での売上の一部をもとに支援物資を購入し、被災地の小学校などに送り続けている。
52	三浦臨海 高等学校	団体	箏曲部		学校内における練習や演奏活動だけでなく、「地域にお住いのさまざまな年代の方々がお琴というものに親しんでいただけるよう活動する」という目標を掲げ、近隣の小学校や介護老人保健施設への訪問演奏、小学生を対象とした公開講座など、たくさんの機会を作って演奏や交流活動を行ってきた。 音楽を通じて地域の方々との交流や地域貢献に努め、高い評価をいただいている。
53	三浦臨海 高等学校	個人	菊地 美里	2年	三浦市とウォーナンブール市(オーストラリア・ビクトリア州)との姉妹都市提携に基づく三浦市青少年姉妹都市国際交流事業の「三浦市青少年国際交流派遣団」の一員に選ばれ、他の派遣生とともに、今年の8月1日から16日までの16日間、ウォーナンブール市を訪問した。ホームステイや学校での生活を通して、異なる文化・生活習慣等を体験するとともに、友好を深めた。 日頃から語学学習にも意欲的に取り組むとともに、持ち前の行動力で国際交流を実践したことは、他の生徒の模範となるとともに、地元三浦市への大きな貢献ともなった。
54	秦野総合 高等学校	団体	女子バレーボ ール部		日頃の熱心な活動はもとより、地区の大会の審判や近隣中学校への実技指導等のボランティア活動を継続して行っている。 また、日頃から、校内や学校周辺の朝の清掃活動を自主的に行うとともに、地元南が丘地区の「あいさつ運動」への参加など、地域との交流や貢献活動を継続的に実践し、地域から厚い信頼を得ている。
55	厚木商業 高等学校	団体	生徒商業研究発 表チーム		スルガ銀行の全面協力のもと、全国初となるVisaデビットカードを用いた「高校生の次世代型社会貢献活動」を開拓し実践した。 この取組は、高校生には困難と思われていたマイクロファイナンスやクラウドファンディングの分野に、Visaデビットカードを突破口として参画する道を開いたもので、今後の消費者市民社会の実現を見据えた「シチズンシップ教育」や、途上国支援等を通じた「グローバル教育」の展開に新たな地平と手法を加えるものである。昨年度の卒業生が成し遂げられなかった課題を引き継ぎ、試行錯誤しつつ多くの人の協力を得て成功させた。

平成25年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
56	大和西 高等学校	団体	合唱部		<p>地域との交流活動に積極的に取り組み地域貢献を果たすとともに、合唱を通じて国際的な文化交流にも大きく貢献している。</p> <p>地域自治会の秋祭りでは、楽しい選曲とパフォーマンスで地域の方々に楽しんでいただくとともに、大和市の友好都市である韓国・光明市から青少年訪問団が来訪した際には、歓迎式典で見事なハーモニーを披露し、列席者に感動を与えた。</p> <p>また、東日本大震災の復興支援イベントでもある横浜国際ユース合唱フェスティバルにも参加し、主体的に災害復興に寄与するなど、幅広い活動を続けている。</p>
57	海老名 高等学校	団体	女子バレーボール部		<p>日頃の熱心な活動はもとより、地元市役所や警察署等が行う、海老名駅頭における交通安全キャンペーンに参加している。他の部活動にも参加を呼びかけるとともに、海老名市民に対して、交通事故の悲惨さを訴え、事故防止に向けたキャンペーンを行ってきた。</p> <p>また、地域の中学校を招いて、年に3回バレーボールの「エビナカップ」を開催し、地域の中学生と交流を図るとともに、部活動の活性化に貢献している。</p> <p>さらに、あいさつ運動への積極的な参加など、地域との交流や地域貢献に努めている。</p>
58	足柄 高等学校	団体	美術部		<p>日頃の校内での活動とともに、長年にわたり地域との交流活動を続けている。</p> <p>地元の下怒田自治会文化祭には、毎年多くの絵画作品を展示し、地域の方々に楽しんでいただいている。</p> <p>また、部員の作品水準の高さが評価され、地元の福沢地区からは、地域美化のための橋脚部への絵画制作を、また、南足柄市及び南足柄観光協会からは、夕日の滝前広場観光看板のデザイン制作を依頼されるなど、美術を通じた地域との交流や地域貢献を進めている。</p>
59	大磯 高等学校	団体	S F 研究部		<p>S F 研究部は、これまで、映画研究部関係の全国大会といわれる「高校生映画コンクール(映画甲子園)」に毎年出品し、輝かしい成績を収めてきた。また、同部のキャラクターである、ご当地ヒーロー「磯高戦隊イソホークス」は、文化祭や地域活動を通じて、地元で親しまれている。</p> <p>本年5月、横浜・みなとみらい21地区で行われた、県警の「犯罪インフラ撲滅キャンペーン」に参加し、映画製作の経験を生かしたシナリオによる「イソホークス」の寸劇を披露するとともに、買い物客に対して犯罪撲滅への協力を呼びかけた。</p>
60	大磯 高等学校	団体	茶華道部		<p>日頃の熱心な活動の成果として、昨年11月の神奈川県高等学校総合文化祭において、丁寧なお点前、お運び、はっきりとしたあいさつで「和」の席を表現し、高い評価を得た。</p> <p>また、文化祭に近隣の介護老人福祉施設の入所者の方々を招待して行う茶会は恒例行事となり、毎年、参加者にたいへん喜ばれている。</p> <p>華道の分野では、部活動後に、校長室、事務室、保健室前の廊下に作品を展示し、来校者や職員、生徒の目を楽しませている。</p>
61	二宮 高等学校	団体	柔道部		<p>日頃から熱心に練習に取り組み、創部2年目にもかかわらず各種大会で優秀な成績を収めているほか、校内の清掃活動に継続的に取り組んでいる。</p> <p>また、昨年度より県警生活安全対策室の「生活安全サポート班」として、「振り込め詐欺防止キャンペーン」に部員全員で参加し、町民に対して積極的に広報活動を行うなど、地域への貢献に力を尽くしている。</p>
62	山北 高等学校	団体	カヌー部		<p>日頃熱心に練習に取り組むとともに、校外の清掃活動を積極的に実施し、地域との交流を深めている。</p> <p>また、山北町が主催する、地域の小学生や住民の方を対象とする「カヌー体験教室」の準備・運営の補助に携わり、部員が安全と技術指導の両面から補助することにより、安心して参加できる「カヌー体験教室」の開催を支えている。</p> <p>さらに、山北町で開催される「丹沢湖カヌーマラソン」や「丹沢湖ボロリーグ大会」の会場設営や運営など、カヌー関連行事に数年間にわたって協力し、地域に貢献している。</p>
63	山北 高等学校	個人	原 大悟 青柳 徹平 坂本 萌花 池田 浩己	3年	<p>J R 東山北駅からの登校途中、河川工事中の作業員が川に転落した現場に遭遇した。3名はとっさに道路から河川に降り、救助活動を行い、他の1名は救急車への電話連絡を行い、現場の他の作業員に知らせた。</p> <p>転落した作業員は意識を失っており、生徒たちは、転落した作業員が救急車によって搬送されるまで援助活動を継続して行った。</p> <p>勇気ある行動と適切な対応は、他の生徒の模範となるものである。</p>

平成25年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
64	吉田島総合高等学校	個人	中津川樹生	3年	農業クラブ草花部の部長として、草花の栽培、研究、飾花活動など、植物を通じて地域へのボランティア活動を3年間継続して行った。 開成町立の学校での花の植え替えや卒業式等の飾花、地域向けの講習会のほか、駅前の花壇植え付けに合わせ行われた、松田警察署と連携した「非行防止キャンペーン」では、キャラクターである「ピーグルくん」の着ぐるみを着てPRを行うなど、「させていただく。」の精神のもと、地域のために積極的な貢献活動を行った。
65	吉田島総合高等学校	個人	小林茉祐加	2年	本県の特産品である足柄茶は、平成23年度に、暫定規制値を上回る放射性物質が検出されたため出荷が制限され、また解除後も、風評被害のため販売が減少した。 少しでも販売実績を回復させたいとの強い思いから、持ち前の絵の技能を生かして、お茶の計り知れないほどの効能と効果について、紙芝居を作成しPRを行った。この取組みは新聞紙上でも採り上げられ、紙芝居のコピーを希望する方も現れるなど、反響を呼び、(株)神奈川県農業茶業センターから感謝状をいただいた。自らの特技を生かし地域に大きく貢献した。
66	吉田島総合高等学校	個人	秋山 由里	2年	農業クラブ草花部の部員として、草花の栽培、研究、飾花活動や開成町との地域連携行事に参加し、地域の活性化に努めた。 とりわけ、金時草(きんじそう)という野菜について、挿し木試験や越冬方法の研究を行うとともに、普及活動に努め、行事等で約300人に栽培方法や食べ方の説明を行い、農家や町民の方から好評をいただいた。 一連の研究等の成果を県の農業クラブの発表会で発表するなど、草花を通じた地域との交流や地域貢献に前向きに取り組んでいる。
67	城山高等学校	団体	放送部		日頃昼の放送や体育祭、文化祭等の学校行事で活発に活動している。 また、「憲政の神様」と呼ばれ、旧津久井町ゆかりの政治家、尾崎行雄(号堂)の生涯を伝える電子紙芝居を制作した。 尾崎行雄の書生を務めていた故石田正一氏が絵と文を手掛けた紙芝居を、画像として一枚一枚取り込んだうえで、読み聞かせ風にナレーションを吹き込み、約30分のDVDに仕上げたものである。DVDは、相模原市立博物館や相模原市内の小中学校などで郷土史の学習に生かされており、子どもたちが郷土の歴史や偉人について学ぶ一助となっている。
68	相模原中等教育学校	個人	岸 祐花	5年	セーリング競技に熱心に取り組み、国内大会での優勝や国際大会への出場など多くの実績を挙げている。遠征や合宿等で授業に出られないことが多いにも関わらず、持ち前の頑張りや学業面でも優れた成績を残しているとともに、学校行事などの場面においても主体的に一生懸命取り組む姿は、他の生徒の模範となるものである。
69	みどり養護学校	団体	新栄分教室 清掃班		平成16年の分教室の開校以来、毎週火曜日の午後、「清掃班」として全生徒が参加して校内の清掃活動を行っている。 数人ずつのグループに分かれて、新栄高等学校内の廊下、窓、玄関などの清掃に取り組み、校内の美化、学習環境の整備に努めている。 また、校外清掃として、近隣の公園の清掃も毎月実施しており、地域の美化に貢献している。
70	三ツ境養護学校 湘南養護学校 座間養護学校	個人	田中 文乃 亀川 聡恵 狩野 愛捺	高等部 3年 3年 2年	日頃学業に熱心に取り組むとともに、日々の努力が実り、「第13回全国障害者スポーツ大会」神奈川県選手団の女子バスケットボール選手に選ばれた。 3名の活躍により、神奈川県選手団は、全国障害者スポーツ大会リハーサル大会(関東ブロック予選会)で優勝し、今年10月に東京で開催された本大会に駒を進めた。 本大会の決勝戦では、12連覇の東京をやぶり、見事に優勝を果たし金メダルを獲得した。

平成25年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

No	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
71	平塚 養護学校	団体	作業班		<p>NEXCO中日本からの依頼を受け、「NEXCO中日本(小田原厚木道路平塚SA)秋の交通安全キャンペーン」に参加した。</p> <p>1学期から啓発用の配付グッズであるコースターやストラップの製作とラッピングを行うとともに、9月のキャンペーン本番では、第2交通機動隊やNEXCO中日本の社員とともに、キャンペーングッズの実際の配付や啓発活動に従事し、社会に貢献した。</p>
72	湘南 養護学校	個人	秋澤 祐太	高等部1年	<p>学級委員として、学級活動や清掃などで中心的に活動しているとともに、バスケットボール部とサッカー部の2つの部活動に参加している。</p> <p>また、学校外でも、地域での活動として、中学校在学中の3年間、二宮町の中学生サークル「恵友会」でボランティア活動を行い、卒業後の現在も継続して、野外キャンプの準備や手伝いなどに携わっている。</p> <p>さらに、二宮町で毎年夏休みに行われる「ジュニアリーダー養成講座」のキャンプに参加し、知識や技術、リーダーシップの向上に努めるとともに、地域で行われる祭りや行事に参加するなど、何事にも積極的に取り組み努力を続けている。</p>
73	座間 養護学校	団体	生徒会本部		<p>コミュニケーションの授業を受けたことがきっかけとなり、あいさつから始まる人間関係の大切さを意識するとともに、接点が少ない肢体不自由教育部門と知的障害教育部門の距離を近づけより良い関係を築きたい、との思いから、生徒会本部として「あいさつすればわかりあえる」など、わかりやすい表現であいさつの標語を考案した。標語はポスターとして校内に掲示し、生徒会本部自ら実践することで、学校全体に素晴らしい影響を与えている。また、保護者や学校を訪れた方々からも賞賛の言葉が多く寄せられている。</p>
74	津久井 養護学校	団体	太鼓コース		<p>日頃練習した成果を、毎年「つくよう祭」(文化祭)や各種校内行事などで発表している。</p> <p>また、地域の公民館祭りや福祉施設の催し、夏祭りなどに招かれて演奏を披露するなど、校外においても幅広く活動している。特に地元の公民館祭りへの参加はすっかり定着し、地域との交流に重要な役割を果たしている。</p> <p>さらに「人権フォーラムかながわ21」などのイベントや、高等部生徒の実習先の催しに招かれるなど、特別支援学校への理解促進にも大きく貢献している。</p>
75	津久井 養護学校	団体	清掃班		<p>毎週、生徒が役割分担をしながら、学校内外の清掃活動を行っている。</p> <p>校内では、日常の清掃が行き届きにくい場所も含めて丁寧に清掃を行うことで、校内美化に大きく貢献している。</p> <p>また、校外では、近隣の相模湖駅、相模湖公園、桂北小学校の清掃活動がすっかり定着した活動として継続しており、多くの感謝の言葉をいただいている。清掃班の活動は、地域の美化への貢献だけでなく、地域の方々との交流にも大きな役割を果たしている。</p>
76	岩戸 養護学校	団体	環境整備班		<p>環境整備班には現在22名の生徒が所属し、毎週学校内外の清掃活動を行っており、校内では、校舎と敷地の清掃を丹念に行うことで学校美化に貢献している。</p> <p>地元岩戸町内には立派な桜並木があり、開花の時期には多くの方々がこの桜並木を訪れる。校外の活動として、この桜並木を含む歩道や公園の清掃を行い、地域の美化に大きく貢献するとともに、地域とのふれあいを続けている。</p>